

2013年9月期第2四半期連結決算

2013年5月8日

株式会社三菱総合研究所

1. 2013年9月期第2四半期決算

2. 2013年9月期業績予想

3. 中期成長に向けて

4. 参考資料

第2四半期のまとめ

売上高：378億円 前同比+13億円(+3.6%)

- 金融ソリューションが牽引し、3.6%の増収
- 官公庁案件で一部が下期に繰延べ(シンクタンク・コンサルティング)

営業利益：28億円 前同比+9億円(+51.6%)

- ITソリューション事業の増収・採算性向上により大幅増益
- 不採算案件対応は計画どおり進捗(前期末引当内で完了予定)

純利益：15億円 前同比+8億円(+127.1%)

- 前期の特別損失、税制改正影響の解消

予想比：売上・利益改善で、通期予想を上方修正

第2四半期連結決算

(百万円)

	2012年9月期 2Q累計実績 (10~3月) ①	2013年9月期 2Q累計実績 (10~3月) ②	前年同期比		2013年9月期 2Q累計 (11/2予想) ③	予想差 増減額 ②-③
			増減額 ②-①	増減率		
売上高	36,569	37,898	+1,328	+3.6%	37,550	+348
売上原価	28,882	29,274	+391	+1.4%		
売上総利益	7,686	8,623	+936	+12.2%		
販管費	5,780	5,732	△47	△0.8%		
営業利益	1,906	2,891	+984	+51.6%	2,390	+501
営業利益率	5.2%	7.6%	+2.4P		6.4%	+1.2P

第2四半期連結決算

(百万円)

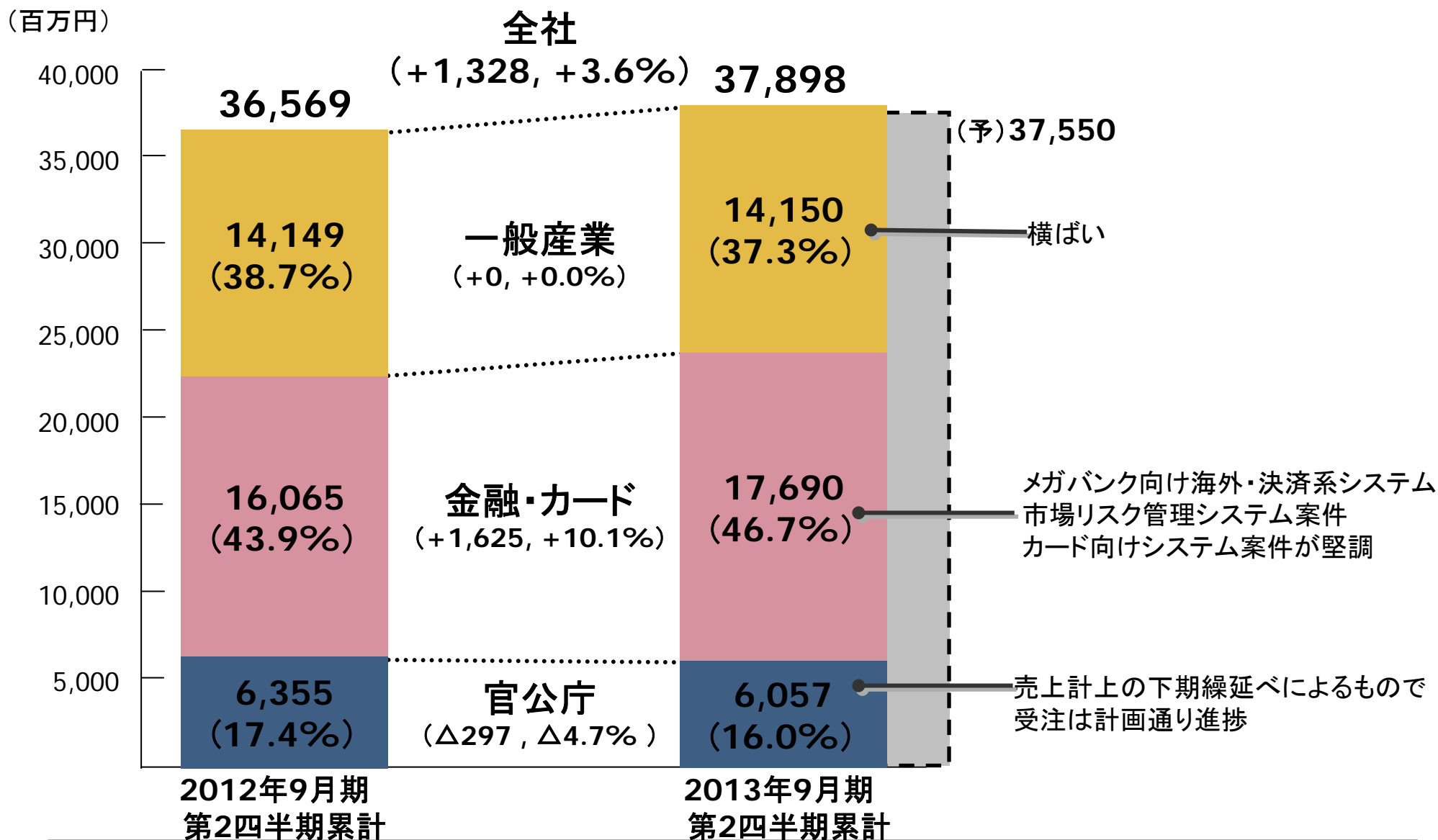
	2012年9月期 2Q累計実績 (10~3月) ①	2013年9月期 2Q累計実績 (10~3月) ②	前年同期比		2013年9月期 2Q累計 (11/2予想) ③	予想差 増減額 ②-③
			増減額 ②-①	増減率		
営業利益	1,906	2,891	+984	+51.6%	2,390	+501
営業外損益	55	78	+22	+40.6%		
経常利益	1,962	2,970	+1,007	+51.3%	2,410	+560
特別損益	△243	19	+262	-		
税金等調整前四半期純利益	1,718	2,989	+1,270	+73.9%		
法人税等	968	1,193	+225	+23.2%		
少数株主利益	67	244	+177	+263.9%		
四半期純利益	682	1,550	+867	+127.1%	1,250	+300
1株当たり四半期純利益(円)	41.57	94.41	+52.84	+127.1%	76.11	+18.30

セグメント別業績 <前年同期比>

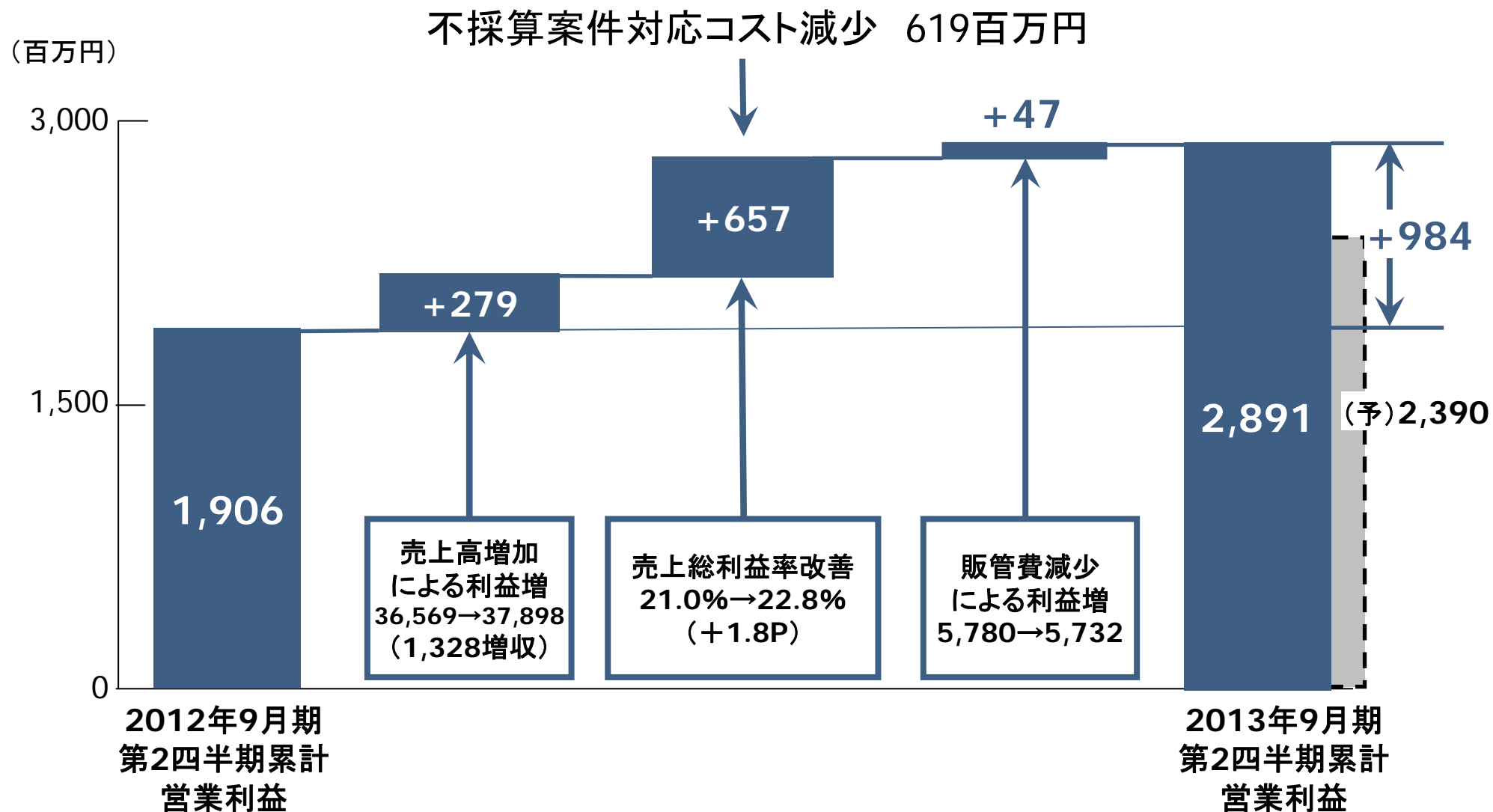
(百万円)

		2012年9月期 2Q累計実績 (10~3月)	2013年9月期 2Q累計実績 (10~3月)	増減額	増減率
シンクタンク ・コンサルティング事業	売上高	8,419	7,212	△1,207	△14.3%
	営業利益	1,009	869	△140	△13.9%
	営業利益率	12.0%	12.1%	+0.1P	
ITソリューション事業	売上高	28,150	30,686	+2,536	+9.0%
	営業利益	910	2,099	+1,188	+130.5%
	営業利益率	3.2%	6.8%	+3.6P	

顧客業種別売上高 <前年同期比>



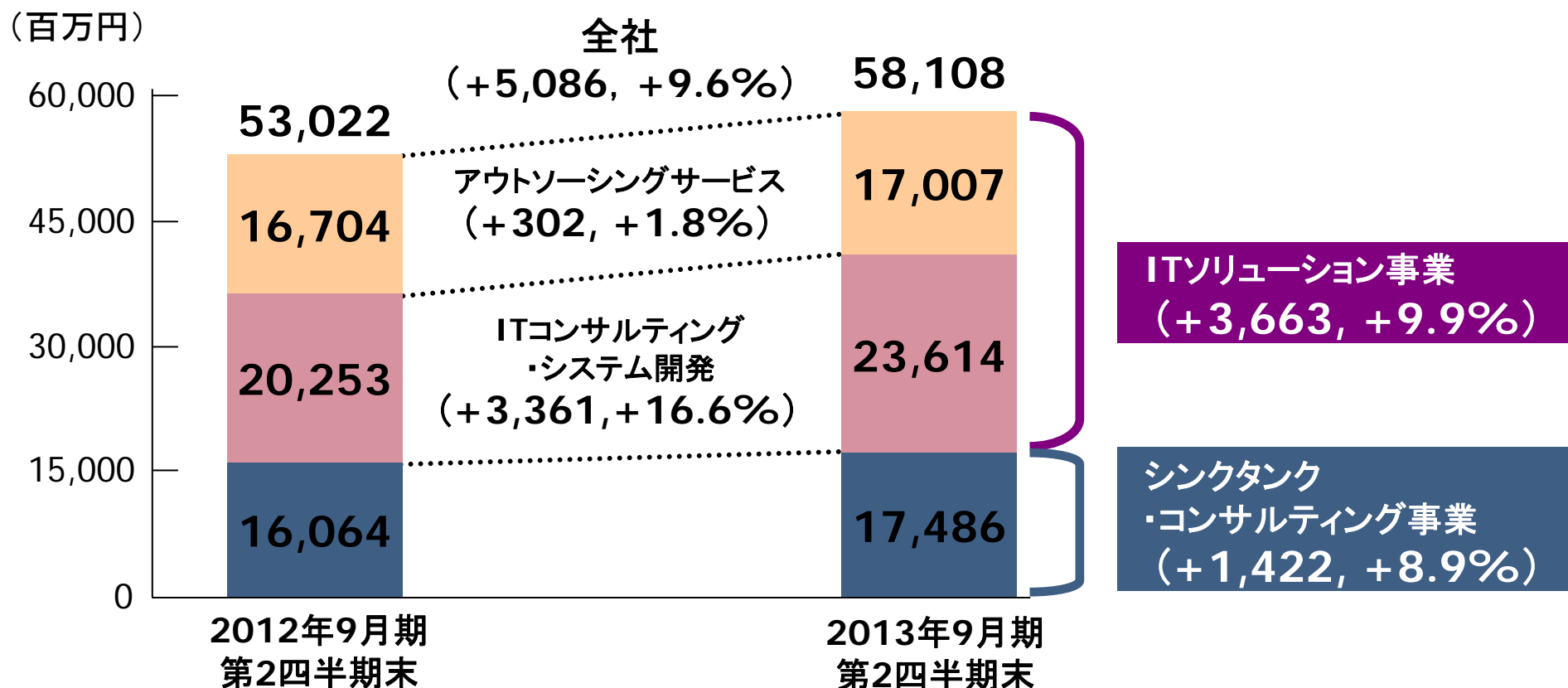
営業利益の変動要因 <前年同期比>



セグメント別受注残高 <前年同期末比>

今期売上分、来期繰越分ともに前年同期末を上回る

- 当期売上計画の9割超の受注を確保済み
- 震災復興、環境・エネルギー関連、メガバンク・カード向けソリューションが堅調



1. 2013年9月期第2四半期決算

2. 2013年9月期業績予想

3. 中期成長に向けて

4. 参考資料

2013年9月期連結業績予想

前回(2012/11/2)予想から修正あり

上期業績、受注の積みあがりを反映し、上方修正

(百万円)

	2012年9月期 実績 ①	2013年9月期 (今回予想) ②	前期比		2013年9月期 (11/2予想) ③	増減額 ②-③
			増減額 ②-①	増減率		
売上高	75,365	80,000	+4,634	+6.1%	78,500	+1,500
シンクタンク・コンサルティング事業	21,079	22,200	+1,120	+5.3%	22,200	—
ITソリューション事業	54,286	57,800	+3,513	+6.5%	56,300	+1,500
営業利益	3,091	4,500	+1,408	+45.6%	4,000	+500
営業利益率	4.1%	5.6%	+1.5P		5.1%	+0.5P
経常利益	3,262	4,660	+1,397	+42.9%	4,100	+560
当期純利益	1,140	2,370	+1,229	+107.8%	2,160	+210
1株当たり当期純利益(円)	69.45	144.30	+74.85	+107.8%	131.51	+12.79

2013年9月期 連結業績予想

売上高予想：800億円 前期比+46億円(+6.1%)

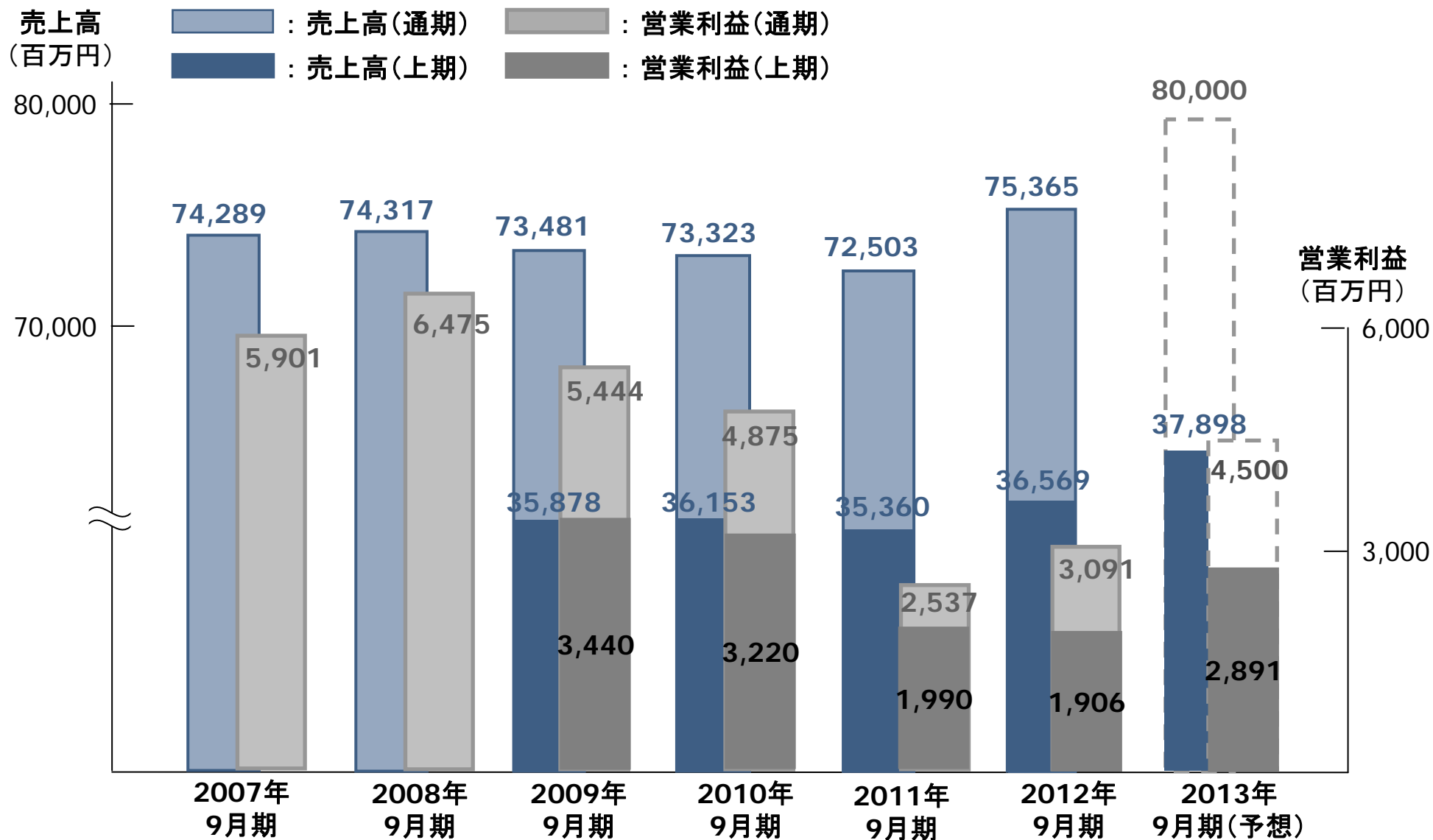
- シンクタンク・コンサルティング：
震災復興、環境・エネルギーの受注堅調
- ITソリューション：
メガバンク・カードの拡大で期初計画を上回り好調、+15億円上方修正

営業利益予想：45億円 前期比+14億円(+45.6%)

- 受注・売上増による増益効果と不採算案件発生抑制による利益率改善

当期純利益予想：23億円 前期比+12億円(+107.8%)

業績推移

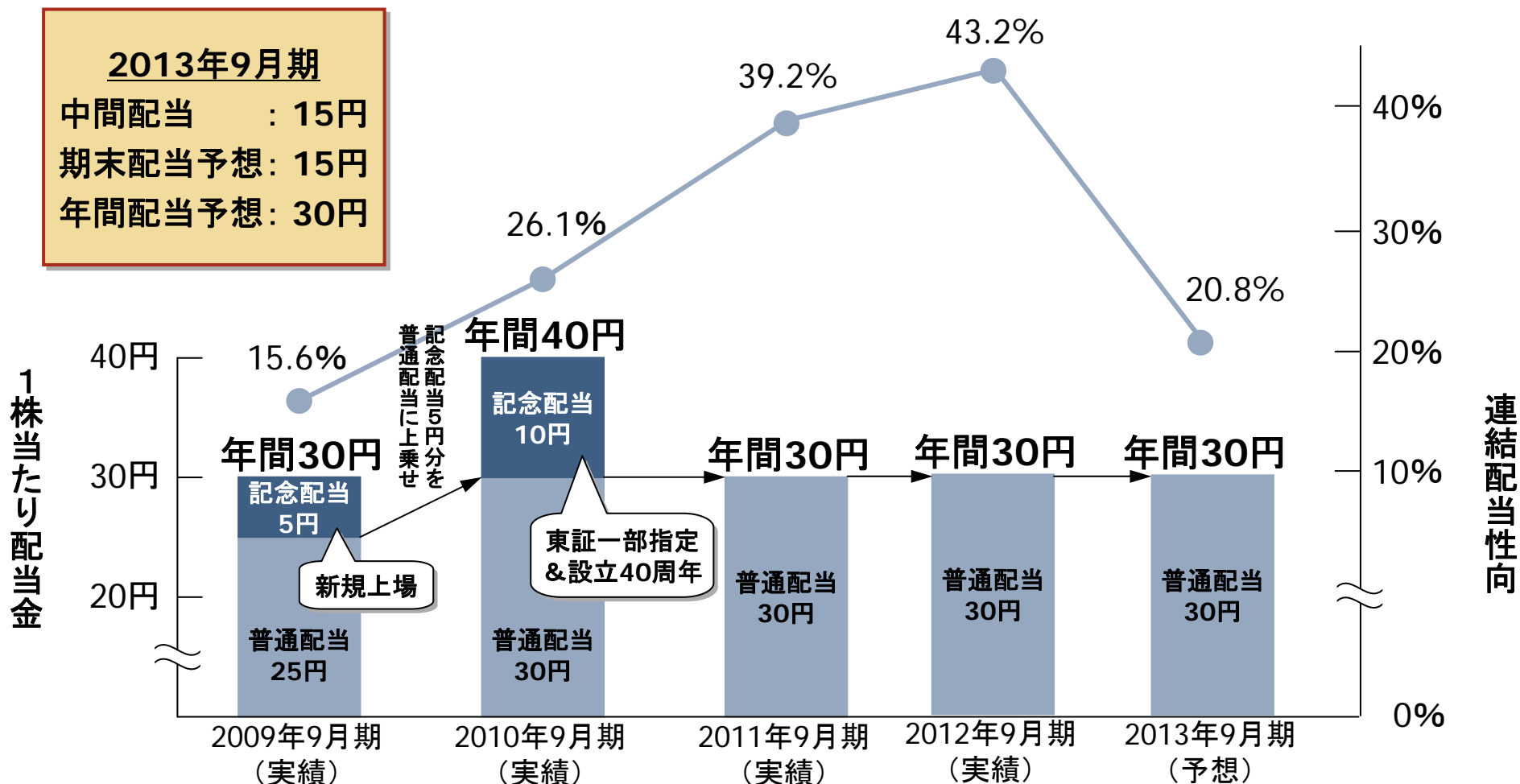


2013年9月期配当予想

前回(2012/11/2)予想から修正なし

配当方針

連結業績動向、財務状況を総合的に勘案し、必要な内部留保充実を図りつつ、安定配当を維持。今後、業績の伸展と配当水準の引き上げを目指す



1. 2013年9月期第2四半期決算

2. 2013年9月期業績予想

3. 中期成長に向けて

4. 参考資料

下期の主な取り組み

計画+実行: 「Think」tankから「Think & Act」 tankへ

震災復興・地域再生支援

- 継続して震災復興に貢献。実事業へも参画し、事業領域を拡大
- 環境・高齢化・雇用問題を解決し、財政的にも持続可能なまちづくりを支援

データコンサルティング

- データ解析事業の基幹顧客深耕・規模拡大
- 大量データ解析によるマーケティング高度化支援が堅調に推移

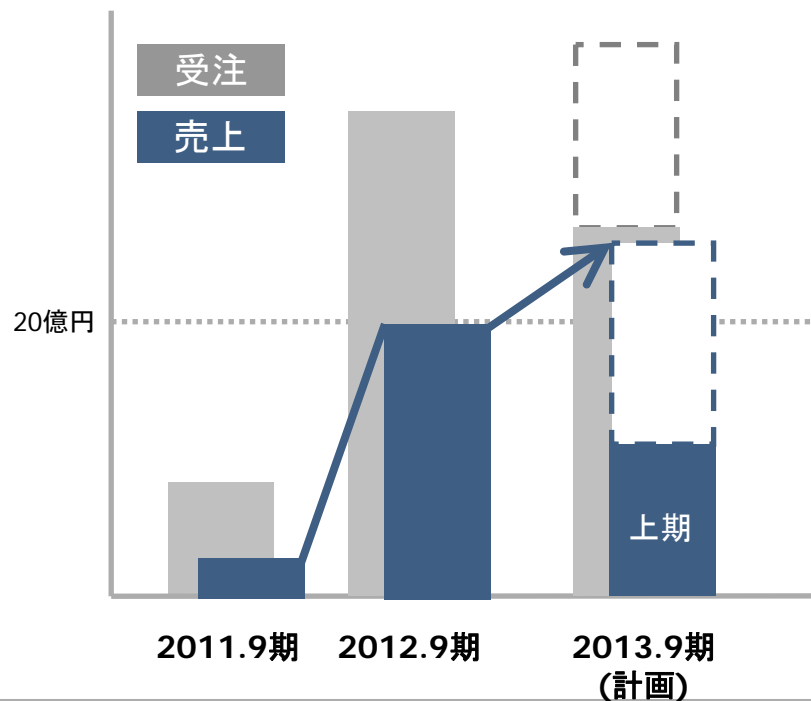
金融機関向けソリューション

- 海外展開支援事業本格化、システム更新・統合等案件堅調

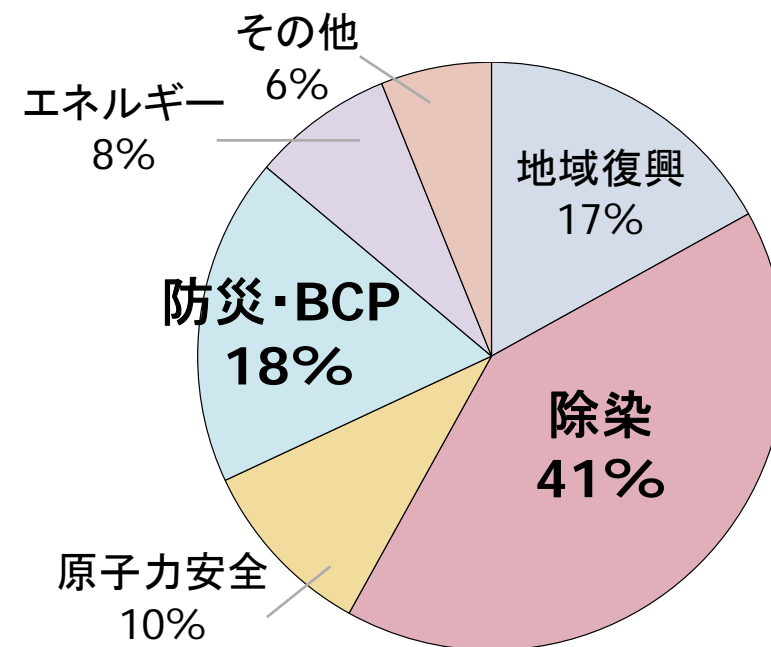
震災復興・地域再生支援

- 被災地域では原状回復を超えた持続可能なまちづくりを積極的に支援
- 下水汚泥減容化事業、植物工場事業化支援など、実事業でも地域再生に貢献
- 24年度補正予算、25年度暫定予算の成立を受け、3月以降受注本格化
(15ヶ月予算:復興・防災対策総計8.2兆円)

受注・売上状況



テーマ区分

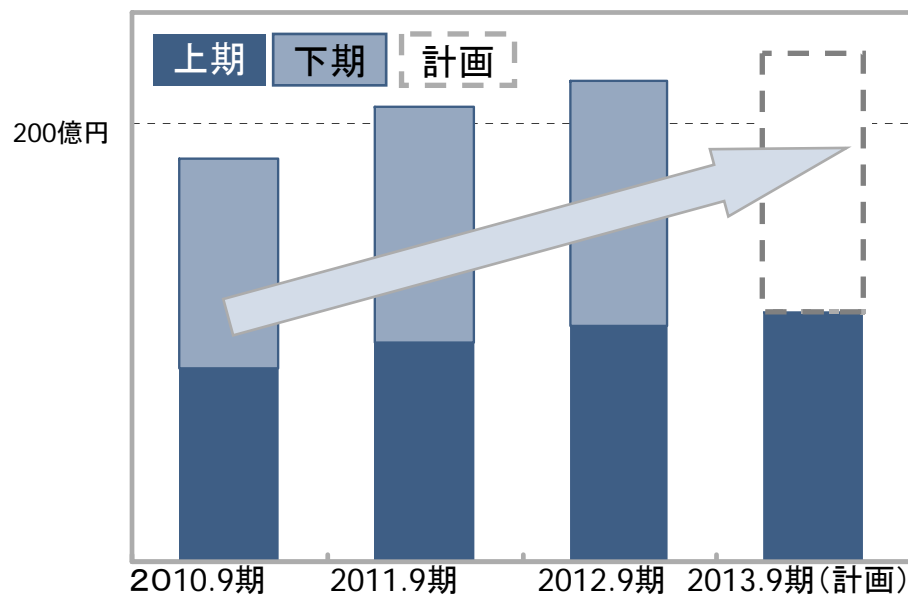


*2011.9~2013.9受注累計

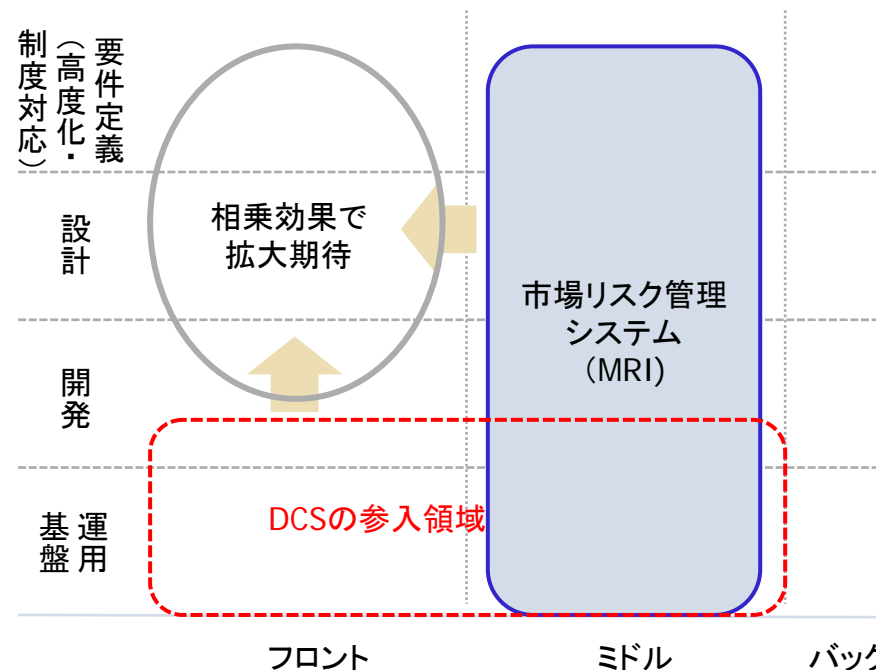
金融機関向けソリューション

- 金融機関においてグローバル化対応のIT投資が増加。
- 三菱総研DCSは従来よりSWIFTや外為など海外系システムに強み。今上期は上海現地法人の設立など海外系分野を更に強化。4期連続の増収狙う
- 市場リスク管理ソリューションを得意とするMRIと連携し、相乗効果により拡大

金融機関向けITソリューション分野売上高



*金融機関関連会社含む。信販会社の一部を含まず



1. 2013年9月期第2四半期決算

2. 2013年9月期業績予想

3. 中期成長に向けて

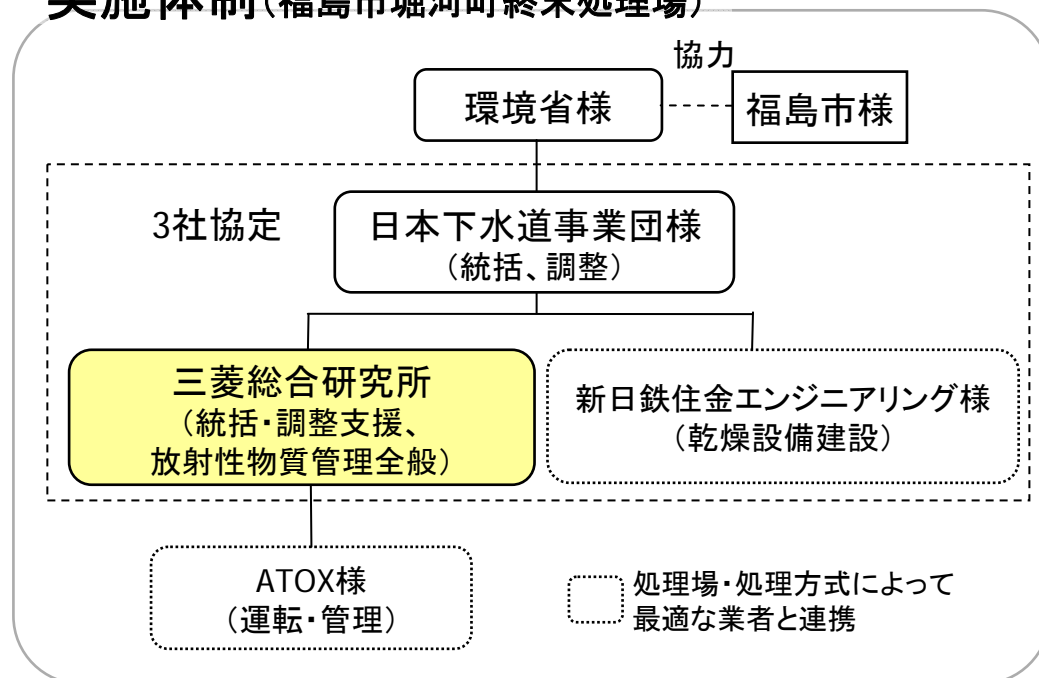
4. 参考資料

放射性下水汚泥処理の官民連携事業

被災地復興支援事業

- 福島県内下水処理場の放射性物質を含む下水汚泥減容化事業 本格化
 - 2013年度はプラント落成(4月6日)、本格実証試験開始、事業費総額:約50億円
(作業者の安全を確保するための設備対策、運転安全管理を担当)
 - 調査検討(Think)に加え、具体的な事業立上げ・運営(Act)にも関与

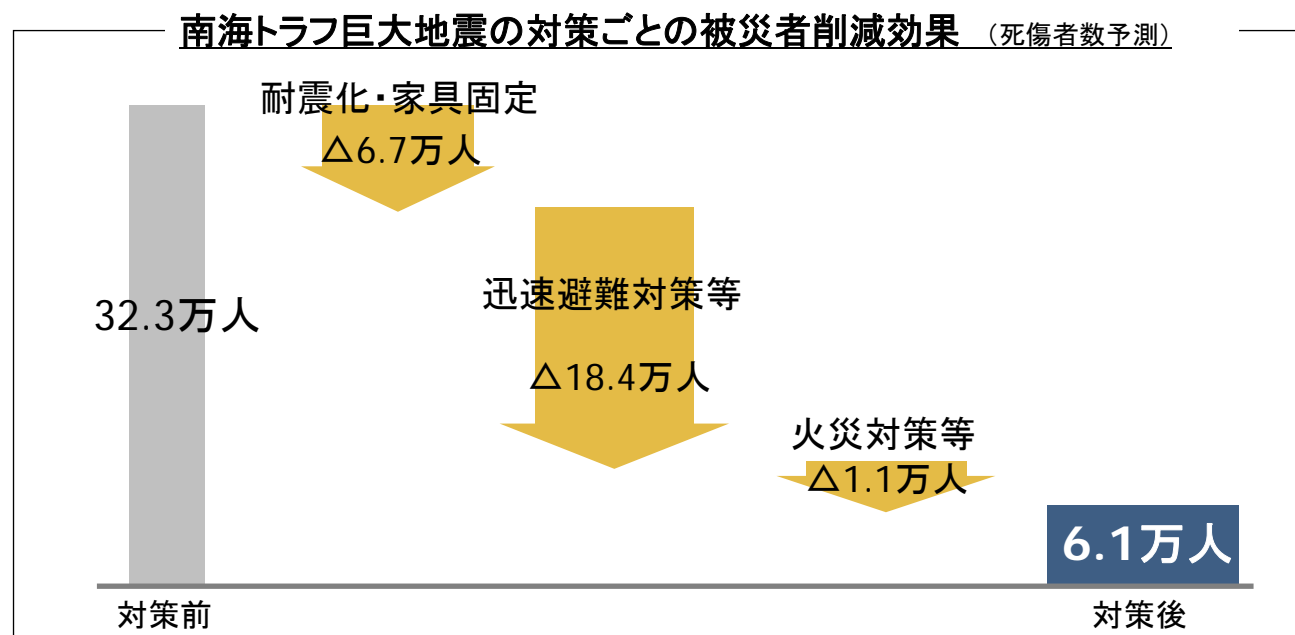
実施体制(福島市堀河町終末処理場)



防災力強化コンサルティング

社会防災力強化事業

- 国・自治体の被害想定調査から、都市・企業のレジリエンス(回復)強化、国・社会の防災力強化コンサルティングが増加
 - 南海トラフの巨大地震の被害想定をはじめ従来にはなかった評価業務等も増加
 - ・ 金融業「企業拠点に対する原子力発電所事故の影響評価業務」
 - ・ 製造業「国の想定にはない首都圏に最大規模の影響を及ぼす地震シナリオ策定業務」
 - ・ 不動産業「エリア防災計画策定業務」



出所: 中央防災会議の公表数値を基にMRI作成

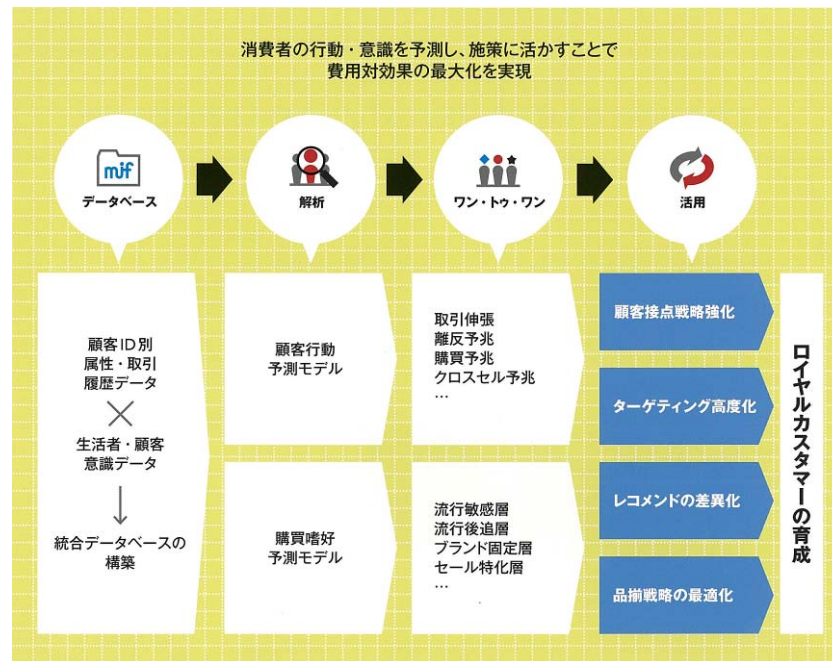
マーケティング最適化支援

ニューノーマル・マーケティング事業

■ 科学的マーケティング強化によるロイヤルカスタマー育成支援(データ解析)

- ▶ 金融、運輸、流通業等に実績あり、継続受注および新規顧客拡大。
- ▶ 顧客ID別属性情報、取引履歴と「生活者市場予測システム」を統合、科学的な解析・モデリングにより未来行動を予測。費用対効果の最大化を実現。

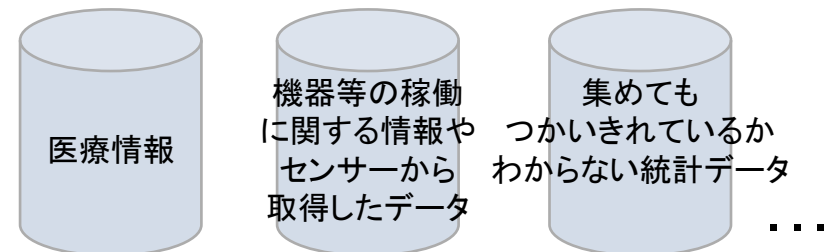
流通業界での取り組み事例



データ活用診断サービス提供開始

データを活用した競争力強化の第1段階

当社が扱うビッグデータ、大量データ例



「活用の目的」を明確化

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

株式会社三菱総合研究所
広報・IR部 IR室

TEL : 03-6705-6001
FAX : 03-5157-2171
E-mail : ir-info@mri.co.jp
URL : <http://www.mri.co.jp/>